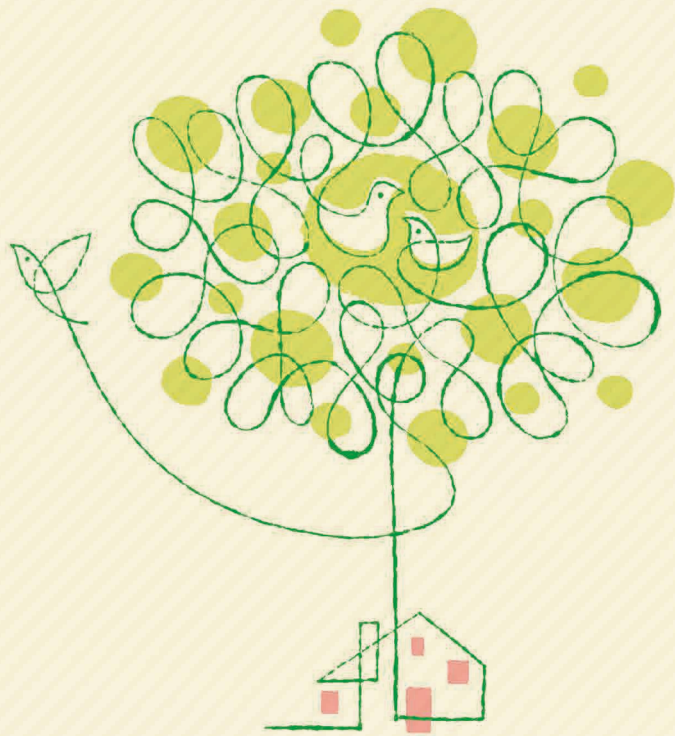




これからの暮らし、もっと豊かに

CARE
design®

住まいと暮らしの ケアデザイン

これまでお伝えしてきた
住まい探しのステップ

- ① 希望(ニーズ)の確認
- ② 高齢期の生活の場の正しい知識をもつ
- ③ 条件に合った施設の情報収集
- ④ 相談できる人や場所を活用
- ⑤ 資金計画を立てる
- ⑥ 見学や体験入居をおこなう
- ⑦ 疑問や不明点を確認
- ⑧ 契約・入居

住まい探しの8つのステップ

前号まではお客様のエピソードとともに
住まい探しの8つのステップについて
お伝えしてきました。

今回は、有料老人ホーム(以下ホーム)を
選択したお客様のその後の暮らしと
自分に合った住まいに出会うための
コツについてお伝えします。

陽子さんのホームでの暮らし

住まい探しのエピソードの最初に登場した
茶道が趣味の陽子さん。住み替え先のホー
ムで楽しく過ごしていましたが、外出先で転
倒骨折してしまい、歩行器が必要になりま
す。入浴や外出にサポートを受けて暮らし

ていましたが、広い施設内の移動を負担に感
じ介護居室に移ることを選択されます。最
初はこれまでの暮らしと異なる様子に戸惑っ
た陽子さんですが、同じ建物内で共有の場
所も多く、友人とも気軽に会えることで不
安は減っていききました。なにより陽子さんが
安心したのは、いつもケアスタッフや看護師
が近くにいることです。いまま椅子に座って
できる立礼式の茶道を楽しみながら穏やかに
過ごしています。「ここ(ホーム)にいるか
ら安心して好きなことができる」と笑顔で教
えてくれました。

住まい探しの近道

陽子さんが選んだのは「自立者向けの介護
付有料老人ホーム」です。マンションタイプ
のお部屋やレストラン、茶室を含むビルー
ムや浴場などホテル住まいのような暮らしが
できる場所です。将来介護が必要になったと
きは介護居室でケアスタッフから手厚い介護
が受けられます。陽子さんは自分のニーズを
きちんと把握したため、「茶道を楽しみたい」
「介護の不安解消」の二つのニーズに合う
住まいを選択できました。陽子さんのように
自分のニーズを明確にすることが望む住まい

【住まい探しのステップをおさらい！】

ステップ	おさらいポイント
① 希望(ニーズ)の確認	●希望や楽しみだけでなく、不安を解消できるかも重要なポイント
② 高齢期の生活の場の正しい知識をもつ	●住まいを正しく理解して。誤った知識は選択の妨げになることも
③ 条件に合った施設の情報収集	●住み替えの条件を整理してから情報収集すると情報過多を防いで時短に
④ 相談できる人や場所を活用	●相談窓口を上手に使うって住まい探しの負担や不安を解消
⑤ 資金計画を立てる	●カラダもココロもお金も10年後をイメージして計画を
⑥ 見学や体験入居をおこなう	●見学と体験入居は面倒でも人や時間をかけて
⑦ 疑問や不明点を確認	●退去要件や返還金などネガティブな項目こそよく確認
⑧ 契約・入居	●本当にここで大丈夫？契約に必要な手続き&もう一度ニーズを振り返って

親のための住まい探しも同様

●自分と親、お互いのニーズを把握することから始めましょう

を見つけるための一番の近道になります。

住まい選びは自分に合わせたステップで

住まい探しの8つのステップはどの項目も重要ですが、得るべき知識や情報の範囲、相談窓口の利用や資金計画など、その内容は一人おひとり異なります。心身の状況や健康状態、ご家族の有無や資産などの事情に合わせて、特に自分やご家族が心配な項目を念入りにチェックすることでスムーズにステップを進められます。

100%の満足・完璧を求めないこと

住み替え先を決める、この決断をするのは大変難しいのですが、タイミングを外してしまうと自分が望む暮らしができなくなってしまうことがあります。将来のことは誰にもわかりません。100%完璧な場所を探しているうちに心身の状態が変わってしまい「入居要件に合わなくなってしまった」とならないためにも、自分にとって一番重要なニーズが充足しているか、そこでの暮らしがイメージできるかなどを基準に決断することも大切なコツのひとつです。

快適なシニアライフのために

多くの方がいつまでも健康で元気に過ごしたいと考えます。ですが、年齢を重ねていくと心や身体、暮らし方、希望や不安は変容していきます。その変化から目を逸らさずに自分の大切な想いが満ちるような「暮らしの器」を見つけてください。

今回で住まい探しのステップは最終回です。皆さんのシニアライフが充実したものにになりますように。



三井不動産株式会社 ケアデザイン室
渡邊 幸子 [わたなべ さちこ]

介護支援専門員(ケアマネジャー)、社会福祉士、精神保健福祉士。地域包括支援センターの相談員として、一人暮らしや認知症の方の暮らし、介護、権利擁護などの相談に従事後、ケアデザインにて介護コンサルタントとして、シニアの暮らしに関わる幅広い相談に対応している。

ケアデザインでは相談にいらっしゃる皆様
お一人おひとりに合ったシニアライフを提案
しております(有料)。

東京中央区日本橋室町3-2-1
TEL:03-3246-3444
<https://www.care-design.net/>

